

# DESIGN YOUR RIDE

MyO

**NO UPCHARGE**  
アップチャージ不要!

オルベア オーダー プログラム  
MyO カタログ



**ORBEA**

[orbea.com/jp-ja](http://orbea.com/jp-ja)



# オルベアなら貴方だけのバイクを アップチャージ不要でカスタマイズできます。

最高のバイクを生み出し続けるオルベアの強みは、すべてのライダーにとって最良のバイクを提供できることにほかなりません。オルベアオリジナルのオーダープログラムMyO（マイオー）ならWEB上でシミュレーションしながらのカスタマイズが可能です。フレームの各部やロゴのカラーを細かく変更できるため、世界に1台だけの貴方のためのバイクを手に入れることが可能です。またホイールやハンドルなどの選択肢も幅広く、ライディングスタイルに合わせたバイクに仕上げることが可能です。ハンドル幅やステム長、クランク長の選択肢もできるため、一切の無駄なくあなたの身体に合わせたバイクをご提供します。

※オーダープログラム使用の場合でも別途基本料金はかかりませんが、コンポーネント、パーツの仕様変更については金額の増減が発生することがあります。  
※こちらは ORCA M20iLTD をカスタマイズする際の一例です。モデルによって変更可能な場所が異なります。

## オルベアとは？

オルベアはスペインのバスク地方で1840年に銃器の製造企業として誕生しました。1930年代には自転車の製造を開始し、現在ではバスク自治州をリードする企業集団であるモンドragon協同組合企業の一部を担うスペイン最大の総合スポーツバイクメーカーとなりました。2008年の北京オリンピックではロードレースでオルカを使用したスペイン代表のサムエル・サンチェスと、マウンテンバイクでアルマを使用したフランス代表のジュリアン・アブサロンの金メダル獲得に貢献しています。これらのバイクはプロチームへの供給などを通じてブラッシュアップを重ねており、高性能かつ信頼性に優れたものとしての評価を確立しています。

**ORBEA**

## POINT 1 カラー変更が自由自在！



MyOオーダープログラムならフレームのカラーリングを自由に変更できます。マットとグロスから仕上げを選べるほか、メインカラー27色に加えて、カーボンの下地を生かしたモノなど特殊仕上げ6色の全33色から選択できます。ノンドライブ側のフロントフォーク上部のセカンドカラーと下部のサードカラーに別の色を指定することも可能です。トップチューブもメインカラーと同色もしくはブラックを指定でき、ロゴのカラーも細かく選べます。つまりほかの誰とも被らない貴方だけのカラーリングのバイクを手に入れられるのです。

\*特殊仕上げはその特性上、色の組み合わせが制限される場合があります。

### 仕上げを選択（マット or グロス）

- ①メインフレームカラー
- ②セカンドフレームカラー
- ③サードフレームカラー
- ④トップチューブカラー
- ⑤フォークディテール& ORCA ロゴ
- ⑥ ORBEA ロゴ（ダウンチューブ）
- ⑦ ORBEA ロゴII（ヘッドチューブ）
- ⑧ OMX ロゴ



\*カラーは一例です。

## POINT 2 パーツ構成も自由にカスタマイズ！



各種パーツのカスタマイズが可能なのもMyoの大きな強みといえるでしょう。メインコンポーネント（バイクグレードで選択）のほか、高性能に定評のあるOQUOホイールはハイトやグレードの異なる選択肢を多く用意しています。ホイールのカラーリング変更も可能です。ハンドルバーについてもスタンダードなカーボンバーのほか、エアロシェイプも用意。さらにステム一体式のVISION METRON 5Dの選択肢も用意しました。

- ①ホイール
- ②タイヤ
- ③クランクセット
- ④ハンドルバー
- ⑤フロントハブ
- ⑥リアハブ
- ⑦ローター径
- ⑧ブレーキ（右前、左前）
- ⑨カセットスプロケット
- ⑩シートポスト（セットバック 20mm、0mm）
- ⑪サドル



# MyO はさまざまなモデルに対応!

## FEATURED MODELS



超軽量を実現した  
オールラウンドレーサー

### ORCA オルカ

長さにわたりロードレースシーンをリードしてきたのがオールラウンドレーサーのオルカです。2003年に初代モデルがデビューし、グランツールをはじめとしたレースでブラッシュアップを重ねながら進化してきました。最新の第7世代オルカ最大の特長は完成車重量6.7kg (M11e LTD PWR/55サイズ) を実現した徹底的な軽量化です。フレームの細部に至るまでカーボン積層を最適化し、ホイールをはじめとしたオリジナルパーツの採用で実現した軽さによって、レースで勝てる卓越したクライミング性能を生み出しました。さらに剛性の最適化や振動吸収性を高めることで、ライダーの能力を最大限に引き出せるバイクへと仕上がっています。

891,000~1,766,600円  
(OMXフレーム仕様完成車)  
399,300~1,014,200円  
(OMRフレーム仕様完成車)  
652,300円  
(OMX Lotto Dstnyレプリカフレームセット)  
614,900円  
(OMXフレームセット)  
460,900円  
(OMRフレームセット)  
※ORCA M30I/M30、Lotto Dstny レプリカはMyO 対象外となります



完璧なバランスを追求した  
エアロードバイク

### ORCA AERO オルカエアロ

オルカエアロはオルベア史上でも最も優れた空力性能を実現したロードバイクです。風洞実験やCFD解析から導き出されたフレーム形状により、空気抵抗を最小化。さらに優れたエアロ性能とともに、動力伝達性能や軽量化、正確なコントロールが可能なハンドリングなど、ロードバイクとして求められる要素を同時に高めています。速さを実現するためエアロに主眼を置きながらも、高次元のバランスを追求したのがオルカエアロです。

614,900~1,689,600円 (OMXフレーム仕様完成車)  
576,400円 (OMX Lotto Dstnyレプリカフレームセット)  
537,900円 (OMXフレームセット)  
※Lotto Dstny レプリカはMyO 対象外となります



あらゆるライディングスタイルに対応した  
グラベルバイク

### TERRA テラ

理想のグラベルバイクを追求するために、ロードやMTBの焼き直しではなくゼロから設計されたバイクです。未舗装路から舗装路までをシームレスに走り抜けるために、軽快な走行感と路面追従性、安定したハンドリングなど、グラベルバイクに求められる性能をハイレベルで実現しました。また多様化するグラベルライダーからのニーズに応えるためにカーボンとアルミ、2種類のフレームを用意しています。フランスの自転車専門誌「Le Cycle」によるグラベルバイクオブザイヤー2023の栄冠に輝くなど、その性能と独自性は多方面から高評価を得ています。

491,700~921,800円 (OMRフレーム仕様完成車)  
322,300~383,900円 (アルミフレーム仕様完成車)  
460,900円 (OMRフレームセット)  
※アルミフレーム仕様完成車はMyO 対象外となります



下りを楽しめて  
上りも早いXCバイク

### OIZ オイズ

XCレースでの最速を目指したのがオイズです。搭載する前後120mmトラベルのフルサスペンションに最適化されたジオメトリーに加え、軽量化に貢献するUFOピボットレスリアトライアングルにより、オフロードを誰よりも速く走るためのバイクに仕上げられました。またMTB最大の魅力といえる下りの楽しさです。狙ったラインを確実にトレースできるハンドリングとサスペンションシステムによって、レースだけでなくトレイルライドも楽しめるバイクとなっています。

968,000~1,597,200円 (OMXフレーム仕様完成車)  
614,900~875,600円 (OMRフレーム仕様完成車)  
414,700~568,700円 (アルミフレーム仕様完成車)  
614,900円 (OMXフレーム)  
※OMR フレーム仕様完成車、アルミフレーム仕様完成車はMyO 対象外となります

## ロット・ディスティニーとともに 世界最高峰の舞台で走る!

オルベアは2024年よりUCIプロチームのロット・ディスティニーとのパートナーシップを締結しました。オルカとオルカエアロが世界最高峰のロードレースで勝利を目指して走ることであります。このパートナーシップ締結を記念してチームレプリカバイクを発表しました。プロライダーが使用するOMXフレームにチームカラーをまとった特別なモデルとなります。

※Lotto Dstny ReplicaはMyo 対象外となります



## 別府史之氏がオルカとテラを選択

オルベアはプロツアーチームで活躍し2021年に現役を引退した別府史之氏とのパートナーシップを締結しました。現在は一人のサイクリストとしての原点に立ち返り、子どものころから好きだったサイクリングを楽しんでいるという彼が選んだのが、軽量オールラウンダーのオルカとグラベルバイクのテラです。オルカは軽量ながらダウンヒルやコーナリングの安定感もある特性によって、ロングライドでも性能が発揮されるのが魅力だと語る別府氏。テラも自由にサイクリングを楽しむための選択肢として欠かせないピースだと語ります。別府氏はオルベアのバイクとともに、サイクリングの楽しさをさまざまな形で発信していきます。

